

登録コード	UAJ05500	開講年度	2026				
授業題目	民法学					担当教員	宗村 和広
						副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・5時限		
				授業形態	講義		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・法学, 2 4 UAカリ・総人社・法学, 2 3 UAカリ・総人社・法学						
	【法学】法学分野の高度な知識を身につけ、法を解釈適用できる能力を有する。					・民法家族法分野について、法条文の正確な解釈だけでなく、適正な利益考量のもとで事案を検討する能力を有する。	
(2)授業の概要	家族法の基礎的な理解はもとより、近時特に立法・解釈をめぐって議論されている問題につき、判例・論考を網羅的に読み込み、解決策を念頭におきながら考察・検討を行う。 本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。 遠隔授業を実施する際は、Zoomを使用したリアルタイムオンライン授業とする。ZoomミーティングのURLは、eALPSまたはメールにて事前にお知らせする。						
(3)授業計画	各回のテーマ 第1回： 概論 家族法の沿革と改正の動向 第2回： 身分行為論（1） 身分行為と意思表示 第3回： 身分行為論（2） 身分行為と無効・取消 第4回： 夫婦財産法論（1） 夫婦財産法改正の動向 第5回： 夫婦財産法論（2） 夫婦財産と第三者 第6回： 婚姻外関係論（1） 内縁・パートナーシップ保護法理の変遷 第7回： 婚姻外関係論（2） 同性パートナーシップ保護法理 第8回： 親子関係論（1） 「嫡出推定の及ばない子」論の再構築 第9回： 親子関係論（2） 同性パートナーシップと親子関係 第10回： 相続法論（1） 相続回復請求の今日的意義 第11回： 相続法論（2） 少子・高齢化社会と相続分 第12回： 相続法論（3） 婚姻外関係と相続分 第13回： 相続法論（4） 遺産共有と遺産管理 第14回： 相続法論（5） 相続と登記 期末試験の有無 なし レポート課題の出題時期や提出期限等については初回ガイダンス又はeALPSにおいて適宜周知する。						
(4)成績評価の方法	複数回のレポート（80％）および各回の授業への積極的参加（20％）により評価する。						
(5)成績評価の基準	授業で取り上げた家族法の問題点に対して一定程度の理解が示されていれば「水準にある」、正確な理解が示されていれば「やや上にある」、関連する規範の趣旨や背景も含めて考察がなされていれば「かなり上にある」、さらに解決策まで明確に指摘できれば「卓越している」。						
(6)事前事後学習の内容	参考書等の該当箇所を予習して授業に臨むこと。とりわけ、あらかじめ指定する判例について、事実の概要と判旨を確認してくること。						
(7)履修上の注意	財産法も含め、民法学についての基本的な理解が必要となるが、履修のための要件ではない。						
(8)質問,相談への対応	原則として毎授業後に受け付けるほか、個別に対応する。						
【教科書】	犬伏由子・石井美智子・常岡史子・松尾知子『親族・相続法〔第3版〕』（弘文堂、2020年）						
【参考書】	大村敦・沖野眞己編『民法判例百選 親族相続〔第3版〕』（有斐閣、2023年） その他、適宜指定する。						